



富山県

No.82 2017 年 1 月

中央植物園だより



第 19 回私の植物写真展入選作品「ちいさい春」 撮影 / 作道 孝二さん

ネコヤナギ（ヤナギ科）

アジア東部の河原に広く生育し、早春に銀白色の花穂が目立つ。この花穂が「猫の尾」のように見えることから和名がつけられた。近年はバッコヤナギとの雑種「フリソデヤナギ」が切花として流通。

第 4 回新春カトレヤ展

今年も新春カトレヤ展を 1 月 6 日（金）～ 9 日（月・祝）の 4 日間開催します。「ランの女王」と呼ばれているカトレヤは、ちょうど 12 月から 1 月にかけてのこの時期が開花の最盛期を迎えます。開催期間中サンライツホールはカトレヤの甘い香りが漂います。



オックスフォード大学交流記念展「英国の園芸文化と植物園」開催レポート

9月22日から10月19日までオックスフォード大学交流記念展「英国の園芸文化と植物園」（富山県主催）を開催しました。富山県とオックスフォード大学とは平成27年2月に優良無花粉スギ「立山森の輝き」とヨーロッパクロマツ「トールキンツリー」の種子交換を行うとともに、オックスフォード大学附属植物園の日本産植物種子採集プロジェクトへの富山県中央植物園の協力などの交流を行っています。交流展では英国の園芸文化を紹介する展示として、中央植物園所蔵の世界最古の原色図譜植物学雑誌「カーティスのボタニカルマガジン」全巻展示、イングリッシュガーデンやイングリッシュローズの展示、園芸文化を紹介するグッズやパネル展示、英国TVドラマ「ローズマリー＆タイム」上映など期間中盛りだくさんの行事を行いました。



9月22日のオープニングテープカット。この後大熊敏之の富山大学教授（左から2人目）によるカーティスのボタニカルマガジンについての講演会を開催。



オープニングセレモニー終了後に、中田園長がイングリッシュガーデンなどの展示を解説。



サンライトホールの南側に設置されたイングリッシュガーデン。



カーティスのボタニカルマガジンを4週間にわたり全巻展示。



イギリスの園芸に関する資料やグッズ



9月26日と10月8日には紅茶教室を開催

TOYAMA 植物フォーラム「英国の園芸文化と植物園」開催

今年のTOYAMA 植物フォーラムはオックスフォード大学交流記念展に合わせて、10月2日に展示会場のサンライトホールで開催しました。カースティ・ショー氏（BGCI：植物園自然保護国際機構）、ベン・ジョーンズ氏（オックスフォード大学附属ハーコート樹木園）、老川順子氏（元王立キュー植物園職員）、大原隆明氏（富山県中央植物園）を講師に迎え、BGCIの植物多様性保全活動、ハーコート樹木園の紹介、英国の暮らしの中のガーデニングの紹介、さらに英国に渡ったサクラと日本に帰ったサクラについての講演と意見交換が行われました。



ハーコート樹木園の紹介をするベン・ジョーンズ氏



講演終了後に質問答える老川氏

研究紹介◎『組織培養技術を用いた菊咲き性サクラ品種の増殖』

企画情報課長 神戸敏成

菊咲き性サクラは花弁がきわめて多く花形が半球状～球状となるサクラの総称で、北陸地域を中心に、これまでに約30種類の菊咲き性サクラが確認されています。菊咲き性サクラ品種の中には原木のみが現存するものもあり、増殖・保存技術の確立が望まれています。サクラの接木は適季が限られることや挿し木が困難な種類も多いことから、菊咲き性サクラ品種の組織培養による増殖方法を確立するために、成長点培養の初期培養における植物成長調節物質の影響について検討を行いました。

植物材料は近年富山県東部で見つかった‘ニューゼンオトメキザクラ（入善乙女菊桜）’および富山県中央植物園内に植栽されている‘ヒヨドリザクラ（鶉桜）’、‘ケンロクエンキクザクラ（兼六園菊桜）’、‘ゼンショウジキクザクラ（善正寺菊桜）’、‘タイザンフクン（泰山府君）’、‘バイゴジジュズカケザクラ（梅護寺数珠掛桜）’、‘オオムラザクラ（大村桜）’の菊咲き性サクラ7品種を用いました（図1）。

休眠期に採取した芽を定法により殺菌し、切り出した成長点をWP培地（Lloyd and McCown 1980）を基本培地とし、サイトカイニン的一种であるベンジルアデノプリン（BAP）やジベレリン（GA）を添加した培地へ置床し、25℃、白色蛍光灯による16時間日長の培養条件で培養しました。

培養12週間後、1 mg/l BAP を添加した培地ではGAの有無に関わらず、すべての品種でシュート伸長が認められましたが、BAP無添加の培地では認められませんでした（図2）。この結果から、菊咲き性サクラの成長点培養では培地へのBAPの添加が不可欠であることが明らかになりました。また、BAPとGAの両方を添加した培地では、‘ケンロクエンキクザクラ’を除く6品種で、BAPを単独で添加した培地に比べ節間が伸び、草丈が長くなる傾向がみられたことから、GAの添加は菊咲き性サクラ品種の成長点培養に有効であると考えられます。現在、富山県中央植物園では県内の農業高

校等と「サクラのバイオ増殖研究会」を設立し、ここで紹介した技術を用いて富山県固有のサクラの増殖に取り組んでいます。

本研究の一部は科研費（23580058）の助成を受けて行いました。



図1 ニューゼンオトメキクザクラ（入善乙女菊桜）

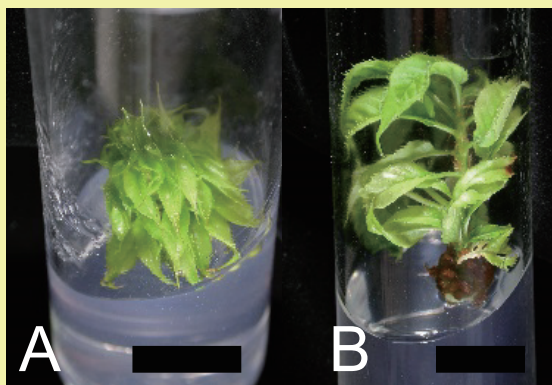


図2 培養12週間後のバイゴジジュズカケザクラ。A：1 mg/l BAP 添加，B：1 mg/l BAP および 5 mg/l GA 添加。スケール=1 cm。

スーパーフード“チアシード”の花が初開花

近年スーパーマーケットの店頭でスーパーフード“チアシード”なるものが売られています。何のタネかという、チアという中南米原産のシソ科の一年草です。シソ科の中でもサルビアの仲間です。「チア」はマヤの言語で“力”を意味するそうで、チアシードにはオメガ-3 脂肪酸が豊富で、A-リノレン酸を含む油脂などが取れるために、健康食品として広く流通するようになりました。これを水につけておくと、種子の周りのグルコマンナンが透明なゼリー状に膨らみ、およそ 10 倍の大きさになります。

このような理由で需要が拡大し、現在ボリビア、メキシコ、アルゼンチン、ペルー、エクアドルなどを中心に栽培されています。また品種改良されて、膨張の度合いが異なる品種が作られています。

富山県中央植物園では 2016 年に初めて発芽する種子を入手し、春に播種したものが 10 月下旬に開花しました。11 月下旬には高さ 1.5m に成長しました。



背丈を越すぐらいまで成長し、開花したチア。

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

干支にちなんだ植物

12 月 9 日（金）～ 1 月 11 日（水）

第 4 回「新春カトレヤ展」

1 月 6 日（金）～ 1 月 9 日（月・祝）

沖縄展

「島の恵みー亜熱帯地域の植物資源の活用Ⅱ」

1 月 13 日（金）～ 1 月 25 日（水）

平成 28 年度研究発表展

1 月 27 日（金）～ 2 月 15 日（水）

第 4 回クリスマスローズ展

2 月 17 日（金）～ 2 月 19 日（日）

第 45 回富山県蘭まつり大会

3 月 3 日（金）～ 3 月 5 日（日）

第 13 回雪割草富山県大会

3 月 10 日（金）～ 3 月 12 日（日）

サクラの企画展

3 月 17 日（金）～

■講座・講習会

ランの栽培講習会

1 月 8 日（日）・9 日（月・祝）

14:00 ～ 15:00

場所／サンライトホール

入園料が必要です。

★平成 28 年度研究発表会

1 月 29 日（日）13:00 ～ 16:00

場所／サンライトホール

入園料が必要です。

★栽培講習会

「クリスマスローズの栽培と管理」

2 月 18 日（土）・19 日（日）

いずれの日も 13:30 ～ 15:00

場所／ドリアスホール

入園料が必要です。

★栽培講習会

「ランの栽培と管理」

3 月 4 日（土）・5 日（日）

いずれの日も 10:30 ～ 12:00

14:00 ～ 15:30

場所／管理研修棟研修室

★栽培講習会

「雪割草の栽培と管理」

3 月 11 日（土）・12 日（日）

いずれの日も 13:30 ～ 15:00

場所／ドリアスホール

入園料が必要です。

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

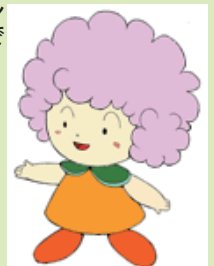
第 1,2,4 日曜日 13:30 ～ 14:00

ー園長と歩く植物園ー

第 3 日曜日 13:30 ～ 14:00

集合場所／サンライトホール

★印は植物園ボランティアの養成講座です。



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00 ～ 17:00（入園は 16:30 まで）
（11 月～ 1 月は 9:00 ～ 16:30、入園は 16:00 まで）

休園日 毎週木曜日

（4 月中と GW、お盆、祝日の場合は開園）
年末年始（12 月 28 日～ 1 月 4 日）

入園料 大人（一般および大学生）500 円
団体料金（20 名以上）400 円
高校生以下ならびに 70 歳以上通年無料

冬期入園料（12 月～ 2 月）

大人（一般および大学生）300 円
団体料金（20 名以上）240 円
高校生以下ならびに 70 歳以上通年無料

年間パスポート（購入日より 1 年間有効）2,000 円

交通案内 JR 富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」経由速星行き（休日のみ）に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約 12 分／富山市中心部より車で約 15 分／北陸自動車道富山インターより車で約 15 分／JR 速星駅より車で約 8 分